

# 神戸市会だより

2020年  
令和2年  
12月 No. 207  
発行：神戸市会事務局  
〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1  
☎(078)322-5853 FAX(078)322-6170  
■神戸市会だよりは年4回発行します。  
(次回は2月号)  
広報紙KOBÉより抜き出してお読みください。  
神戸市広報印刷物登録 令和2年度第18号-1  
(広報印刷物規格 A-1類)

\*ホームページでは神戸市会の最新情報をご覧ください。 [神戸市会](#) [検索](#)

## 令和元年度 各会計決算を認定

\*

令和2年第2回定例会市会が9月18日に開会しました。会期は12月8日までの82日間で、前半が9月議会、後半が11月議会となります。9月議会では、令和元年度決算及び関連議案を中心に審議を行いました。(市長提出44件、議員提出5件、合計49件)

### 決算等の議案を審議

9月28・29日の本会議で、令和元年度決算及び関連議案計24件について各会派の代表者が質疑しました。その後、決算特別委員会を設置し、局別にさまざまな観点から審査を行いました(主な内容は2～4面をご覧ください)。その結果、10月27日の本会議ですべて認定・可決しました。また、補正予算・条例改正などの市長提出議案も9月28日、10月27日の本会議で可決しました。

### 可決した主な議案

#### 令和元年度決算 決算特別委員会委員長報告より

「神戸市行財政改革2020」に基づく取り組みなどにより実質収支及びプライマリーバランスの黒字を確保したことを評価するとともに、新型コロナウイルスによる減収が予想される中においても、まちの魅力と活力を高める施策を積極的に展開していくことを期待して、令和元年度神戸市各会計決算20件は認定し、関連議案4件は原案どおり承認することに決定しました。

#### 令和2年度 新型コロナウイルス感染症対策 補正予算(第3弾)の概要

- I 検査体制の強化及び医療体制の安定的確保
- 検査体制の強化・医療提供体制の安定的確保
  - 社会福祉施設等における感染拡大防止対策
- II 市民生活の支援と新しい生活様式への対応
- 子どもたちの学びや障がい者の就労を推進
  - with コロナ時代における野外活動の推進
- III 経済活動の支援

- 神戸経済の回復に必要な働き手の確保
- 神戸の魅力を活用した近場観光・市内消費の推進

#### IV 災害復旧等の喫緊の課題への対応

#### 人事案件

兵庫県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙を行いました。また、神戸市教育委員会委員、神戸市固定資産評価審査委員会委員の任命に同意しました。

#### 議員提出議案

- ◆神戸市会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例  
政務活動費の按分による支出に関し規定を追加しました。
- ◆意見書の提出  
次の意見書を国に提出しました。
  - 国民に開かれた再審制度に向けた審議促進を求める意見書
  - 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書
  - 障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律の改正を求める意見書

#### ◆令和元年度決算に対する各会派の賛否一覧

○=賛成 ×=反対

件名	自	公	維	共	立	つ	国	無 平野(寛)	無 松本(し)	無 上原	無 村上	結果
一般会計/国民健康保険/市営住宅/新都市整備/自動車/高速鉄道	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	認定
市場/食肉センター/駐車場/農業集落排水/市街地再開発/介護保険/後期高齢者医療/下水道/港湾/水道/工業用水道	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	認定
農業共済/母子父子寡婦福祉資金貸付/公債	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定

自 自由民主党 公 公明党 維 日本維新の会 共 日本共産党 立 立憲民主党 つ つなぐ 国 共創・国民民主 無 無所属

### 令和2年 第2回定例会市会 [9月議会]の動き

9月18日

本会議

- 開会
- 会期決定
- 人事案件・選挙
- 2年度補正予算などの議案の提案・質疑
- 元年度決算および関連議案の提案
- 元年度決算に基づく健全化判断比率などの報告
- 議員提出議案の提案・討論・採決

9月23日・24日

常任委員会

- 2年度補正予算などの議案及び陳情の審査

9月28日・29日

本会議

- 2年度補正予算などの議案の採決
- 元年度決算および関連議案に対する会派代表の質疑
- 2・3面でご紹介
- 人事案件の提案・採決
- 決算特別委員会設置

決算特別委員会

9月30日～10月16日

- 元年度決算および関連議案の審査
- 4面でご紹介

本会議

10月20日

- 追加議案の提案

常任委員会

10月21日・22日

- 追加議案および陳情の審査

本会議

10月27日

- 追加議案の採決
- 元年度決算及び関連議案の討論・採決
- 議員提出議案の提案・採決

本会議

10月28日

- 一般質問
- 4面でご紹介

#### ◆後半の11月議会について

令和2年11月27日(金)から12月8日(火)まで開かれます。

#### 会派名の変更

9月11日付けで「こうべ市民連合議員団」が会派名を「立憲民主党神戸市会議員団」に変更しました。



# 本会議での各会派代表による質疑から

9月28日・29日の本会議では、令和元年度決算とそれに関連する議案について、市長・副市長などの考えをたどりました。その主な内容をご紹介します。  
(録画映像は神戸市会ホームページでご覧いただけます)

神戸市会 中継 検索

## 質疑した議員 9月28日

- 自由民主党・・・山下てんせい・岡村正之 村野誠一
- 公明党・・・軒原順子・堂下豊史
- 日本維新の会・・・山本のりかず・川口まさる



## 質疑した議員 9月29日

- 日本共産党・・・今井まさこ・味口としゆき
- 立憲民主党・・・たなびき剛・やのこうじ
- つなぐ・・・小林るみ子

- 共創・国民民主・・・諫山大介
- 無所属・・・平野章三・上原みなみ・村上立真



## 教育・子ども

### PTA活動における保護者負担の軽減

村野議員

PTAについては、時代の変化に対応できておらず、特にひとり親や共働き世帯には、働きながらPTA活動をすることによる負担が大きく、全国的にも問題となっている。他都市ではボランティア団体に移行させるなどの改革を実行した学校もあり、神戸市においてもスピード感を持って各学校におけるPTA改革を進め、保護者の負担を軽減すべきと考えるがどうか。

今年4月からPTA改革担当課長を配置しており10月下旬頃から学校長や単位PTA会長を対象に研修を行う予定にしている。今後、学校園やPTAに対し必要な支援を積極的にいき、保護者負担の軽減に努めていきたい。

### ICTを活用した不登校児童生徒への支援

堂下議員

昨年度の神戸市の不登校児童生徒は過去最多を更新し、コロナ不安により126人が不登校となっている。文部科学省から、自宅でのICT学習の提供により不登校児童生徒を出席扱いにする旨の通知が出されたが、GIGAスクール構想による1人1台端末の予算化を契機に、ICTを活用した不登校児童生徒への支援を積極的に推進すべきと考えるがどうか。

学びの保障の観点から、まずはコロナ不安で登校できない全学年の児童生徒と、端末が先行配備される中学3年生、小学6年生の不登校児

童生徒に対し、必要に応じて、授業のライブ配信を3学期から開始できるよう準備を進めたい。

### 乳幼児の育児環境の充実

山本(の)議員

初めて出産を経験した産婦は子育てに関する多くの不安を抱えており、新型コロナの感染を恐れ、対面での相談を懸念する方も多く聞く。産婦の抱える悩みを募集して回答を動画配信で発信するなど、産婦の子育てに関する悩みの解消を図る事業をさらに積極的に実施すべきではないか。

新生児の訪問事業や育児などに関する個別相談会に加え、正しい育児の知識啓発や仲間づくりの場を提供して悩みの軽減を図る「すくすく赤ちゃんセミナー」を11月からオンライン開催する予定で検討している。今後、動画配信も含め効果的な媒体・手法を選んで情報発信していく。

### 福祉乗車証の制度維持を

今井議員

母子世帯の福祉乗車証が令和2年10月に廃止されると、新型コロナの影響で一層厳しい生活を強いられる中、さらに大きな負担が母子世帯にのしかかることになる。今すべきことは支援策の強化であり、制度の改悪は撤回し、母子世帯の福祉乗車証制度を維持すべきと考えるがどうか。

母子世帯の福祉乗車証は制度転換を図り、父子世帯を含むひとり親世帯の高校生に対する通学定期券の補助を実施することとした。ひとり親世帯の支援については、身近な相談事業の中で

困窮している状況や課題をしっかりと把握し、各種の支援策につなげてまいりたい。

### 神戸の自然を生かした野外活動の推進

諫山議員

緊急事態宣言発令中、学校臨時休業の長期化による子供のストレス対策として、地域住民が実施する屋外プログラムに対し助成金を交付したが、神戸の自然を活用した野外活動の取り組みをさらに推進すべく、制度の拡充、周知に取り組むべきではないか。

学校の臨時休業が長期化する中で、子供が野外で過ごせる環境を提供するために子供向け屋外プログラムを募集したところ、延べ53団体が多様なプログラムを実施し、約2,000人の参加があった。屋外のいろいろな取り組みが広がり、たくさんの市民が事業主体として参加できる政策を積極的に進めたい。

### 学校園の働き方改革

平野(章)議員

市長は記者会見で、「教育委員会事務局が教師の時間を奪っている。本当に学校現場のことを考えているのか」と述べている。教員は授業以外の多忙さについて、意識改革などとして対策を現場に丸投げせず、生徒・保護者を念頭に置いて考えるべきではないか。

校長や教員の代表とも意見交換しながら働き方改革に取り組んでいるが、教員の多忙化改善のためには、保護者や地域の方々にも状況を理解していただくことが重要だと考えている。

## 暮らし

### インフルエンザ流行期に備えた医療機関への支援

村野議員

インフルエンザ流行期を迎え、発熱などの症状を訴える市民が大幅に増加し、医療需要の急増が予想される中、かかりつけ医も含む、各医療機関が十分な感染防止策を実施し、患者を受け入れられるよう、感染リスクの高いトイレの改修など必要な施設改修費の補助や防護服の提供など、積極的に医療現場を支援すべきではないか。

国の補助内容の情報を収集し、基準額を超える施設改修や国の補助内容とならないものについても、市として積極的支援を行い、かかりつけ医を含む医療機関の環境を整備することでインフルエンザ流行期の医療体制を構築していきたい。

### コロナ禍におけるひとり親家庭への支援

軒原議員

コロナ禍によりひとり親家庭の経済状況は非常に厳しい。神戸市でもさまざまな支援を行っているが、定員や給付条件があるなど限定的な支援となっている。子供たちの健やかな成長のためにもさらなる支援の実施と、相談体制の拡充に取り組むべきと考えるがどうか。

本市ではひとり親支援のため、会計年度任用職

員を緊急雇用するなどの独自施策をいち早く実施してきた。また、就業相談として専門家に毎日相談できる体制の整備や個別相談できるネットワークづくりなども行ってきた。ご指摘や相談内容などを踏まえ、支援策の拡充に取り組む。

### ウォーターフロントへの連節バス運行と神戸夜市の開催

たなびき議員

かねてから神戸夜市の開催を提案しているが、令和3年4月開始予定の都心・ウォーターフロント間での連節バスの本格運行に合わせ、メリケンパークでの神戸夜市の開催を検討してはどうか。

令和3年4月からの本格運行を目指している連節バスにより、三宮駅周辺からウォーターフロントへのアクセス向上が期待され、メリケンパークで開催されるイベントとバスを連携させることで、賑わいづくりにつながると考えている。神戸夜市は、新型コロナの状況から時期を見極め、まずは期間限定の夜の賑わいづくりとして試行的に実施し、効果などを検証したい。



### 新型コロナ感染防止対策ステッカーの作成

上原議員

兵庫県ではGo To Eatキャンペーンに参加する飲食店に感染防止対策宣言ポスターの掲示を求めているが、「文字のみでデザイン性に乏しく読みにくい」との声も聞く。神戸市独自でデザイン都市らしいステッカーを作り、飲食店に配布すべきではないか。

酒類を提供する飲食店へ感染拡大予防ガイドラインを案内するなど感染防止対策を徹底しており、ステッカーも含め今後とも効果的対策を検討していく。ポスターの件は兵庫県に伝える。

### ジャイアントパンダ飼育繁殖共同研究の成果検証

村上議員

ジャイアントパンダ返還にあたり、今後新たなパンダ導入の協議を進めるとのことだが、受け入れには多額の費用が必要となる。これまでの飼育繁殖共同研究の成果を整理・検証し、議論を経たうえで方針決定すべきではないか。

研究成果を掲載した論文をホームページなどで公表するとともに、これまでの議会で議論や、パンダ受け入れから20年間の総合的な成果を踏まえ、新たな雌雄の導入を引き続き要望してまいりたい。

## まちづくり

### 六甲山上へのアクセス性向上

岡村議員

豊かな自然が保全された六甲山のさらなるにぎわい創出に向け、六甲山グランドデザインの策定や、六甲山上スマートシティ構想の推進などが進められているが、そのためには都心部から山頂へのアクセス向上が不可欠である。ロープウェイは、海と山に囲まれた美しい街並みの神戸市に適しており、都心部から山頂をつなぐ大胆な施策として検討すべきではないか。



ロープウェイの整備にはさまざまな課題があるが、山上へのアクセス性向上は大変重要である。山上への魅力的なアクセスについて、六甲山のにぎわい創出の取り組みと合わせ、幅広く検討したい。

### 人口減少時代の地域コミュニティ施策

堂下議員

地域福祉センターを拠点として実施する「ふれあいのまちづくり事業」は高齢者、障害者、児童など全ての人々を対象としているが、利用者の8割は高齢者で、40代以下の子育て世代は2割となっている。より多世代交流機能を果たせるよう、例えば事業活動支援の助成メニューに多世代交流会食を加えるなど、工夫すべきと考えるがどうか。

地域福祉センターが多世代交流機能を持つよう、若い世代にもっと地域福祉センターを利用していただきたいと考えている。多世代が

交流できるメニューも含めて子育て世代の参加を促すような助成メニューへの見直しを検討していきたい。

### 市バス・地下鉄の感染拡大防止対策

やの議員

他都市の地下鉄や市バスでは、新型コロナウイルス感染症の防止対策として車内の抗ウイルス・抗菌加工を実施しており、民間事業者にも広がりを見せている。利用者が安心して市バス・地下鉄などを利用できるよう同様の取り組みを実施してはどうか。

これまで車両内の消毒を実施してきたが、さらに抗ウイルス・抗菌加工についても情報収集し検討してきた。これは抗ウイルス抗菌性のある特殊な薬剤を手すりなどに塗布し、透明で薄い膜のコーティングを作るもので、効果がある程度長期間期待できるとされている。市バス・地下鉄ともできるだけ早く実施したい。

## 行財政

### 今後の財政運営

山下議員

新型コロナの影響に伴い、今後の市税収入の減収が予想される。進展する少子超高齢化、人口減少社会を見据え社会保障施策の継続性やまちの質や暮らしの質の向上のため、今後の財政運営における基本的な考え方を伺いたい。

影響がリーマンショックと同程度の場合、令和3年度で約150億円の減収と試算している。そのため短期的には感染拡大防止と市民生活・経済活動の維持・回復の両立を最優先に取り組む。一方で強い財政基盤を確立するため、長期的な視点でまちの発展につながる成長プロジェクトを推進し、その果実をさらなる成長に投資し税源の涵養を図りたい。

### 外郭団体の抜本的な見直しによる行財政改革

川口議員

神戸市の外郭団体は現在30団体ある。4団体

を削減してきたということだが、依然不十分である。行政の補完的役割や民間資源の活用を図るため真に必要な団体が今一度見直し、団体の廃止を含めた抜本的な改革をさらに進める必要があると考えるがどうか。

外郭団体の外部調査では不適正な事案がかなり発生しており、多くの団体がガバナンス不足であることが判明した。また団体によっては、設立目的が明確なのかという問題もある。団体の廃止、業務の縮小・統合も含めた抜本的な見直しが必要であると考えており、できるだけ早期に方向性を出していきたい。

### 行財政改革方針2025

味口議員

神戸市は今後5年間の行財政改革として、福祉局だけで26事業、約133億円もの事務事業の削減を進め、市民の福祉やサービスを切り捨てようとしている。市民に必要な事業の廃止や縮小、人員削減ありきの行財政改革をするべきではないと考えるがどうか。

社会情勢が大きく変化中、将来にわたっ

て市民サービスの維持向上を図るため、限りある人員や財源の最適化が重要である。福祉局の見直しはあくまで最適化に向けた経過の一部であるが、行財政改革方針2025を早期に策定することで、職員一丸となって業務改革や事務事業の見直しに取り組んでまいりたい。

### 保健所のあり方

小林議員

神戸市では平成10年の統廃合により、保健所が1カ所に集約され、各区役所には保健センターが設置された。また、市全体の保健師の数は増えたが感染症専任の保健師の数は減っている。新型コロナで保健所の機能と職員体制強化が求められている中、今後の保健所のあり方について伺いたい。

保健師は主に区役所で子育て支援や疾病対策に従事するほか、感染症の危機管理レベルが上がった現在、保健所と各区が一体的な体制で感染症対策に取り組んでいる。保健師は震災以降も順次増員を行い、今年4月1日時点で201名だが、さらに今後40名増員し、体制強化を図りたい。



# 決算特別委員会の質疑から

決算特別委員会では、令和元年度決算及び関連議案について審査しました。委員会は、3つの分科会を設け、9月30日から局ごとに審査した後、10月14日に総括質疑を行いました。(録画映像は神戸市会ホームページでご覧いただけます)



決算特別委員会(議員66名で構成。9月30日から10月27日まで設置) 委員長 山口由美 副委員長 徳山敏子・山本じゅんじ・外海開三

## 質疑した議員

- 自 自由民主党……五島大亮
- 公 公明党……藤本浩二
- 維 日本維新の会……三木しんじろう
- 共 日本共産党……西ただす
- 立 立憲民主党……よこはた和幸
- つ つなぐ……あわはら富夫
- 国 共創・国民民主……前島浩一
- 無 無所属……平野章三・上原みなみ・村上立真

### 仮想電子市役所の推進

自 五島議員

◎市税や保険料支払、保育園の申し込みなど行政手続きのオンライン化や、個人情報を利用したプッシュ型の情報の通知など、仮想電子市役所を推進し、市民がデジタル社会の恩恵を実感できる取り組みが必要ではないか。

▲目標としては2025年度までに申請の約70%が、電子申請などスマートな方法で手続きできる環境を整備し、市民がサービス向上を実感できるようにしたい。プッシュ型の情報提供は、プライバシー配慮や個人情報保護も含めた研究、検討を進めたい。

### ひとり親家庭への経済的支援

公 藤本議員

◎新型コロナによる経済活動の停滞が長引き厳しい状況が続くひとり親家庭を応援する観点から、自立支援を図る一方で、緊急避難的な経済的支援が今一度必要と考えるが、見解を伺いたい。

▲ひとり親家庭の半数以上が非正規雇用との調査結果もあり、依然として厳しい状況が続いていると認識している。ご指摘を踏まえ、直接的な経済的支援について年内を目途に実施できるよう、直ちに制度設計に着手したい。

### 中学校給食の魅力向上と学校における「脱はんこ」

維 三木議員

◎温かい中学校給食提供については取り組んできたが、今後の保温食缶や親子方式\*の実施スケジュールを伺いたい。また、教員の学校内業務の改善・働き方改革を行い脱はんこも進める必要があると考えるが、どのように取り組んでいくのか。

▲11月ごろから親子方式のモデル実施を調整している。温かい給食の提供に向け積極的に取り組みたい。脱はんこは、働き方改革や保護者の負担軽減の観点から重要であり、現場の意見もふまえ可能なものから見直したい。

\*親子方式…小学校の給食室で調理した給食を中学校に配送して提供する方式

### 新型コロナウイルス感染症対策におけるPCR検査の拡充

共 西議員

◎感染が判明した学校や保育所の保護者の不安の声に応え、教育委員会やこども家庭局がPCR検査の対象拡大を求めている。市長は健康局の姿勢を変えさせ、子を思う保護者の不安解消のためにも検査対象を拡大するべきではないか。

▲インフルエンザの流行も踏まえ、検査資源を効果的に活用するため、最優先は特別養護老人ホームでの検査と考える。今後も検査資源の状況を踏まえながら、感染拡大防止と医療提供体制の確保のため、優先順位を見極めて対応したい。

### 新型コロナウイルス感染症対策について

立 よこはた議員

◎新型コロナの感染が最悪を想定される状況でも医療崩壊の心配はないとのメッセージを示すことが、市民の安心に繋がるのではないかと。また、風評被害防止対策を徹底してほしい。

▲中央市民病院の臨時病棟の整備や遠隔医療システムの導入による診療支援などにより、医療提供体制を安定的に確保できるというメッセージをSNSなどで広報していきたい。また、風評被害対策は重要であると考えており、偏見・差別が起こらないようしっかりと啓発していきたい。

### 政策決定過程の公開

つ あわはら議員

◎市民にとって影響の大きい重要な政策について、意思形成過程の基本ルールを確立し、またそれを市民に明らかにすべきだと考えるがどうか。

▲本市の意思形成は政策会議\*だけでなく、通常の決裁行為のほか、市長の指示、日常の打ち合わせや予算編成でされるものもある。不確定な情報を公開することにより不安や混乱をもたらすのは避けなければならないが、政策会議のさらなる活用、あるいは公開内容の充実を検討していきたい。

\*政策会議…市政運営の基本方針、重要な施策など、重要な計画の策定及び進行管理などについて審議、決定などを行い、行政の迅速かつ総合的な推進などを行うため、設置している会議

## 要望事項

10月27日の本会議で、山口由美決算特別委員会委員長から、市長に対し要望を行いました。

### ●健康と安心のまちづくりについて

インフルエンザ流行期を見据えて、新型コロナウイルスの検査・診療体制の整備を図ることで市民の健康を守るとともに、感染者への差別や誹謗中傷への対策を講じることで、市民の不安払拭に努められたい。また、認知症神戸モデルの周知に加え、認知症予防施策を拡充されたい。

### ●神戸経済の活性化について

サプライチェーン再構築、国際金融センター誘致に向けた国への働きかけ、物流用地の確保など、企業誘致策を強力に進めるとともに、都心・三宮再整備にあたっては、さんセンタープラザ

の再整備など、元町方面との連続性も視野に入れた整備に取り組まれたい。

### ●子育て支援について

こども家庭センターでの学習支援強化のためのICT活用や体制の強化を進めるとともに、こども食堂実施箇所を拡充されたい。また、妊婦へのタクシークーポン券配布事業についても拡充されたい。

### ●教育環境の充実について

教員の事務負担軽減やICT導入、スクールサポートスタッフの配置充実など、小中学校における働き方改革を進められたい。また、熱中症対策などのため、小学校の体育館や特別教室などに空調設置を行い、教育環境の整備を進められたい。

### ●文化・スポーツの振興について

学校園施設の活用やスポーツ施設の整備などによりスポーツ振興に努めるとともに、魅力ある図書館づくりを進められたい。

### ●市政改革について

行政サービスにおけるオンライン手続きの拡充、職員のICTリテラシーの向上、働き方改革など、スマートシティに対応した取り組みを進め、市民サービスの向上や業務の効率化などに加え、さらなる行財政改革を強力に進められたい。また、市営交通事業については、付帯事業収入を含めた増収策やコストカットを行い、徹底した経営改善に取り組まれたい。

## 一般質問



個々の議員が個人の立場や観点で質問しました。

### 坊池正議員(自由民主党)

- 1 ウォーターフロントの再開発・まちづくりについて
- 2 駅周辺のリノベーションについて
- 3 都市内幹線道路・補完的幹線道路ネットワークの整備について
- 4 農村の活性化について

### 岡田ゆうじ議員(自由民主党)

- 1 幹部人事並びに女性活躍推進について
- 2 子育て支援について
- 3 市民満足度について

### 北川道夫議員(公明党)

- 1 神戸創生に向けた定住人口・関係人口の創出、拡大について
- 2 コロナ禍におけるガン検診について
- 3 アルコール依存症対策について
- 4 フードバンク支援強化による食品ロス対策と生活困窮者支援について
- 5 自然災害伝承碑について

### 黒田武志議員(日本維新の会)

- 1 交通事業の経営改善について
- 2 西神中央駅周辺の活性化について
- 3 GIGAスクール構想に関する学校現場の支援について
- 4 不法投棄対策について

### 山本じゅんじ議員(日本共産党)

- 1 須磨多間線について
- 2 ニュータウン再整備について
- 3 地球温暖化防止について

### 川内清尚議員(立憲民主党)

- 1 学校図書館における学校司書のさらなる配置拡充について
- 2 垂水養護学校・垂水体育館用地における中核的医療機関整備事業について
- 3 神戸駅前広場の再整備について
- 4 垂水駅周辺エリアの活性化について

### 浦上忠文議員(つなぐ)

- 1 理想の政治、大都市の方向性について